



平成29年度 全国保健師長会 ニュース No.2

第1回理事会・講演会報告

平成29年5月運営会議発行

新年度を迎え、第1回理事会及び講演会が4月22日(土)にAP 東京八重洲通りで開催されましたので、ご報告いたします。

《平成29年度 全国保健師長会第1回理事会》

◇日時:平成29年4月22日(土)13:00~15:00

◇会場:AP 東京八重洲通り



1. 今年度の活動テーマ

「“社会の課題に向き合う公衆衛生看護活動の展開”ー保健・医療・福祉をつなぎ安心して健やかに暮らせるまちづくりの実現ー」として、以下の4項目を柱として活動します。

- (1) 専門性の高い公衆衛生看護活動の強化
- (2) ブロック、支部活動の強化
- (3) 被災地における保健師活動の可視化及び各自治体における災害時対策の取組の促進
- (4) 会員数の拡大

2. 最重点活動目標

- (1) 保健師活動の可視化及び質の向上
- (2) 情報発信の強化
- (3) 災害保健活動の推進
- (4) 市町村の会員拡大の4点を最重点目標としています。

3. ブロック研修会

今年度の活動テーマは、『保健師活動の可視化及び質の向上に向けた取り組み』です。研修会の内容は、専門性の高い公衆衛生看護活動の強化につながる研修とするために、「地域に責任をもった活動の強化に関すること」「統括的な役割を果たす保健師の配置の推進と役割の確立に関すること」「各自治体の特性に応じた保健師活動指針の作成に関すること」「保健師の現任教育の充実に向けた取り組みに関すること」の項目から1項目以上を取り上げ、講演、グループワーク、実践発表等を実施することとします。

4. 各分会・委員会・ブロックからの報告

平成28年度の活動報告について、各分会・委員会・ブロックから報告がありました。





5. 調査研究事業

今年度の応募は、次の通り4件ありました。「災害後の保健活動における現状と課題」福島県相双保健福祉事務所、「地区担当制による保健活動の効果と課題」磐田市健康増進課、「国保改革における都道府県保健師の役割」静岡県健康福祉部、「地域包括ケアシステム構築にかかる保健師の役割」埼玉県狭山保健所の4件です。

執行部から調査・研究を応募する際は、今一度「全国保健師長会における調査等活動に関する内規」を確認するようお願いがありました。(規約等・運営に関する手引きを参照)

6. 平成30年度 国への要望について

「平成30年度地域保健施策および保健活動の推進に関する要望書」(案)が示されました。内容については、最終的に意見集約後、5月を目途に厚生労働省へ提出する予定です。

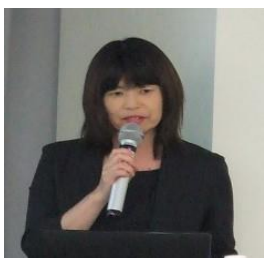
7. その他

HP アクセス状況の報告や日本保健師連絡協議会の集会に関する報告、厚生労働省が実施している「子育て世代包括支援センター業務ガイドライン(案)」「産前産後サポート事業・産後ケア事業ガイドライン(案)」に関する意見募集について、今後の母子保健業務に大きく影響すると考えられるため、事業運営上の課題や疑問、要望などの意見をぜひ提出してほしいとお話がありました。

《講演1》 「地域保健をめぐる国の動向」

厚生労働省健康局健康課保健指導室長 加藤典子氏

加藤室長からは(1)保健師の人育成体制構築の推進(2)被災地の支援・災害時における対応(3)健康診査・保健指導について(4)地方自治体における保健師の状況 について、パワーポイント資料に沿ってお話がありました。



《講演2》 「国保制度改革と保険者機能の強化～保健師のリーダーに期待すること～」

厚生労働省保険局国民健康保険課長 榎本健太郎氏

榎本課長からは(1)市町村国保改革の動きと保険者への期待(2)特定健診・保健指導(3)データヘルス計画(4)糖尿病重症化予防(5)地域包括ケア(6)保険者努力支援制度 について、パワーポイント資料に沿ってお話がありました。



講演会資料は、全国保健師長会ホームページに掲載しましたので、ぜひご覧ください。

<http://www.nacphn.jp/index.html>

(作成：広報委員会)